



中国四国地域の和食文化ネットワーク



メールマガジン 第 60 号
配信日：2024 年 2 月 7 日



立春が過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだまだ寒い日が続きます。冬が旬の野菜を食べることで血行が良くなり、冷え性や風邪等に効果があると言われてはいますが、野菜をどのくらい食べているのかわからないものです。今回、適量の野菜を摂取する習慣につながるよう、野菜の摂取状況が把握できる取組（ベジチェック）をご紹介します。※第 4 次食育推進基本計画における目標：1 日当たりの野菜摂取量 350 g 以上

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/230714.html>

ベジチェック常設店舗（令和 6 年 1 月現在）↓（カゴメ株式会社ホームページ）

<https://healthcare.kagome.co.jp/news/post52>

【目次】

1. 農林水産省「第 20 回食育推進全国大会」開催地の決定！
2. 農林水産省「越境 EC を通じた日本の食文化・食体験『商品』輸出化プロジェクト」優秀商品決定！
3. 農林水産省 広報 Web マガジン aff（あふ）1 月号「未来へつなぐ和食インタビュー」
4. 文化庁「京料理の体験イベント」のご案内
5. 和食会議 シンポジウム「調査・研究部会 新春講演会」のご案内

1. 農林水産省「第 20 回食育推進全国大会」開催地の決定！

農林水産省は、毎年 6 月の「食育月間」に関連する取組の一層の充実を図るため、令和 7 年度の全国的な取組として、第 20 回食育推進全国大会を徳島県との共催により開催することとしました。

日時：令和 7 年 6 月 7 日（土曜日）、6 月 8 日（日曜日）

場所：徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）

（徳島県徳島市山城町東浜傍示 1 番地 1）（予定）

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/240126.html>

2. 農林水産省「越境 EC を通じた日本の食文化・食体験『商品』輸出化プロジェクト」優秀商品決定！

農林水産省は、「食かけるプロジェクト」の一環として、地域の食文化・食体験の魅力を伝える「商品」の越境 EC（※）を通じた輸出商品化を支援しています。今回、商品の募集・審査の結果、越境 EC での販売に向けた支援を行う優秀商品 3 商品を決定しました。

（※）越境 EC：インターネット通販サイトを通じて商品やサービスを海外に販売すること。

○中国四国地域管内の優秀商品

商品名：山柿庵やま柿

企業名：國和産業株式会社（所在地：岡山県）

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/240130.html>

3. 農林水産省 広報 Web マガジン aff（あふ）1月号「未来へつなぐ和食インタビュー」

農林水産省広報 Web マガジン「aff」では、第一線で活躍する和食の達人から将来を担う子どもたちへ想いをつなぐ連載企画「未来へつなぐ和食」を奇数月に配信しています。

1 月は、使いたい食材を求めて全国を旅するという、「御料理ほりうち」店主の堀内さやかさんにお話をうかがいます。聞き手は和食が好きでご自身でも料理をするというタレントの斉藤應之介（おうのすけ）さんです。

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2401/washoku04.html>

4. 文化庁「京料理の体験イベント」のご案内

文化庁では、日本の食文化を守り未来に伝えるため、和食文化の保護・継承活動を促進する様々な取組を実施しています。この度、「食文化振興加速化事業」の一環として、登録無形文化財「京料理」と、共に育まれてきた文化や歴史を体感いただくイベントを実施します。

日時：令和 6 年 2 月 11 日（日曜日）～ 3 月 10 日（日曜日）のうち 11 日程

場所：京都の老舗料亭等 11 店舗

予約方法申込み等、詳しくはこちらをご覧ください。↓（文化庁ホームページ）

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/94000701.html

5. 和食会議 シンポジウム「調査・研究部会 新春講演会」のご案内

(一社) 和食文化国民会議は、五節供&行事食の直近の傾向をアンケートから探るシンポジウムを開催します。オンラインでも対面でもご参加いただけます。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：令和6年2月19日(月曜日) 13時00分～15時30分(受付開始12時30分～)

場所：富士ソフト アキバプラザ(東京都千代田区) またはオンライン (Zoom)

定員：会場40名、オンライン500名(要申込、先着順)

申込締切：令和6年2月8日(木曜日) 17時00分

【研究発表】

①五節供における食の認知と摂取経験に関するアンケート調査(第2報)

(東洋大学 食環境科学部准教授 露久保 美夏氏)

②日本の正月行事に関連した食の実態とコロナ禍の影響

(学習院女子大学 国際文化交流学部教授 宇都宮 由佳氏)

詳しくは、こちらをご覧ください。↓ (和食会議ホームページ)

<https://washokujapan.jp/symposium/>



中国四国地域の和食文化ネットワークの事務局



窓口：中国四国農政局 経営・事業支援部 食品企業課

住所：岡山県岡山市北区下石井 1-4-1

電話：(086)224-4511【内線 2152/2154】

農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。

配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>